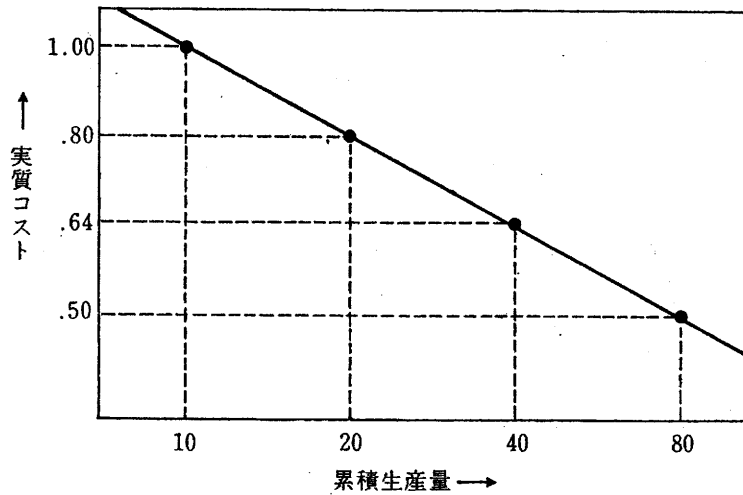


【補足資料】
経験曲線

PPM では、まず、経験曲線 (experience curve) が前提として承認されなければならない。経験曲線とは、ボストン・コンサルティング・グループが数々の製品コストの研究から発見したコストと生産量の関係を示す経験則である。それは「製品の累積生産量が2倍になると、単位当りのコストは20~30

図 5-7 経験曲線



% 低減する」というもので、これを対数グラフで示すと、図 5-7¹²⁾ のとおりである。

こうした経験曲線は、① 経験を重ねることによる作業者の習熟効果、② 職務の専門化と作業方法の改善による効果、③ 新しい製造方法の開発と改善、④ 当初の生産手段からの能率向上、⑤ 安価な資源を利用した資源ミックスの改善、⑥ 製品の標準化、⑦ 製品の設計改善などの諸要因の相乗効果として現われると考えられる¹³⁾。

ところで、経験曲線は市場占有率および成長率の重要性を示唆している。すなわち、累積生産量をもつ企業、つまり市場占有率の高い企業は、経験曲線効果によって競合企業に比べて低いコストを実現できる。ところが、市場価格は競合企業間でほとんど差がないため、コストの低い企業はそれだけ高い利益が保障されることになるのである (図 5-8)¹⁴⁾。

図 5-8 市場占有率の価値

